

令和 8 年度土採取現場責任者試験

試 験 問 題

注 意 事 項

1. 試験時間 10 時～12 時（2 時間）
2. 試験問題の構成
 法令問題 10 問（問 1 ～問 10）
 技術問題 10 問（問 11～問 20）
3. 解答用紙
 上部の所定の欄に、受験番号及び氏名を正しく記入してください。
4. 解答の記入方法
 （1）ア～エのうちから、正解と思う該当符号を解答欄に記入してください。
 （2）一つの解答欄に複数の符号を記入した場合は、いずれも正解としません。
 （3）解答を訂正する場合は、消しゴムで消してから書き直してください。
5. 電子計算機及び計算機機能付時計の使用は禁止します。
6. 携帯電話等の電源は、必ず切ってください。
7. 退室は、試験開始後 40 分間、及び試験終了前 10 分間は認めません。退室時には必ず解答用紙を提出してください。なお、一度退室すると試験が終了するまで入室できません。
8. 試験問題は持ち帰りできます。
9. 不正行為をした方は失格とします。また、不正行為と紛らわしい行為をした場合も同様です。
10. 試験中はこの注意事項及び係員の指示に従ってください。従わない場合は、退場を命じることがあります。
11. 中途退出等係員を呼ぶ場合は、静かに手を挙げてください。

千 葉 県

このページは空白です。

問題中の用語について

- 1 「条例」とは、「千葉県土採取条例（昭和49年千葉県条例第1号）」をいう。
- 2 「規則」とは、「千葉県土採取条例施行規則（昭和49年千葉県規則第66号）」をいう。
- 3 「審査基準」とは、「千葉県土採取計画の認可に係る審査基準（平成25年4月1日施行）」をいう。

このページは空白です。

問 1 条例の目的を記述した次の文中、①～④に入れるべき語句について、**正しいものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

この条例は、土採取業について、その①を行う者の登録、②計画の認可その他の規制を行うことにより、土の③に伴う災害を防止し、もって県民の福祉の維持及び④に資することを目的とする。

	①	②	③	④
ア	事 業	土の採取	採 取	増 進
イ	土の採取	事 業	掘 削	増 進
ウ	事 業	土の採取	掘 削	自然環境の保全
エ	土の採取	事 業	採 取	自然環境の保全

問 2 条例の適用に関する次の①～④の記述について、誤っているものはいくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 切土で発生した土を、場内のくぼ地を埋めるために有効利用する場合は、条例が適用される。
- ② 宅地造成に伴って土を採取し、造成工事で余った土を残土として搬出し、処分する場合は、条例が適用されない。
- ③ 建設業者が、自己の請け負った工事のみに使用するためであっても、採取した土を有効利用する場合は、条例が適用される。
- ④ 一時的に少量であっても、個人が庭を修復するために土を採取する場合は、条例が適用される。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 3 次の①～④の記述のうち、条例に基づき知事が土採取業者の登録を拒否する事由として正しいものは、いくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 選任しようとする現場責任者が、その登録を受けようとする法人の代表取締役であった。
- ② 現場責任者として、砂利採取法第15条の規定による業務主任者試験に合格した者を置くこととした。
- ③ 選任しようとする現場責任者が、他の土採取業者の現場責任者として登録されている者であった。
- ④ 登録を申請した法人の業務を行う役員の中に、この条例の規定により申請日の1年前に罰金の刑に処せられた者が存在した。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 4 条例及び規則に基づく現場責任者の職務に関する記述について、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 土の採取に従事する者に対する土の採取に伴う災害の防止に関する教育計画の作成に関して、土採取業者に助言しなければならない。
- イ 土採取計画を作成し、その認可の申請をしなければならない。
- ウ 土の採取に伴う災害が発生した場合に、その原因を調査し、適切な対策を講じなければならない。
- エ 土採取場において、認可採取計画に従って土の採取が行われるよう土採取業者に助言しなければならない。

問 5 次の①～④の記述のうち、条例に基づく認可申請書に添付すべき書類として規則に明確に規定されているものはいくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 採取する土の種類及びその販売価格を記載した書面
- ② 土採取場並びに土の搬出経路及び主要な公共施設等を示す縮尺 5 万分の 1 以上の地図
- ③ 土採取場で土の採取を行うことについて申請者が権原を有することを示す書面
- ④ 土採取場の位置及び掘削区域を示す縮尺 5 万分の 1 以上の地図

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 6 条例に基づく採取計画の認可に関する記述について、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 知事は、採取計画に定められた土の採取のための設備その他の施設に関する事項又は土の採取に伴う災害の防止のための方法及び施設に関する事項に不備があるときは、認可をしてはならない。
- イ 土採取業者は、認可採取計画に規則で定める軽微な変更をしようとするときは、知事の認可を受ける必要はないが、その場合であっても、知事に届け出なければならない。
- ウ 知事は、認可申請に係る採取計画に基づいて行う土の採取が他人に危害を及ぼし、公共の用に供する施設を損傷し、又は他の産業の利益を損じ、公共の福祉に反すると認めるときは、認可をしてはならない。
- エ 知事は、認可申請に係る採取計画に定められた採取する土の数量及びその採取の期間を審査し、土の需給に混乱が生じる恐れがあると認めるときは、当該認可に条件を付することができる。

問 7 条例に基づく知事の権限等に関する次の①～④の記述について、正しいものはいくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 知事は、登録を受けずに土採取業を行った者に対し、採取跡の埋戻しその他土の採取に伴う災害の防止のため必要な措置を執るべきことを命ずることができる。
- ② 知事は、土の採取に伴う災害の防止のため緊急の必要があると認めるときは、採取計画の認可を受けた土採取業者に対し、土の採取に伴う災害の防止のため必要な措置を執るべきことを命ずることができる。
- ③ 知事は、この条例の施行に必要な限度において、当該職員に土採取業者の事務所、土採取場その他その業務を行う場所に立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査させ、又は関係者に質問させることができる。
- ④ 土採取業者は、緊急措置命令に従って必要な措置を行う限りにおいては、その措置の内容が認可採取計画と異なっていたとしても遵守義務違反とはならない。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 8 条例及び規則に基づく完了及び廃止の届出等に関する次の①～④の記述のうち、**正しいものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 土採取完了（廃止）届出書には、採取跡地の土砂等の崩壊の防止方法及び施設並びに跡地利用計画等を記載しなければならない。
- ② 土採取業者は、認可に係る土の採取を完了し、又は廃止したときは、規定様式による届出を行わなければならない。
- ③ 土採取業者が認可に係る土の採取を廃止しても、当該認可の期間中は、その効力を失わない。
- ④ 土採取完了（廃止）届出書は、認可採取計画の採取の期間内に提出しなければならない。

- ア ①、②
- イ ①、③
- ウ ②、④
- エ ③、④

問 9 条例及び規則に基づく土採取場に掲げるべき標識に関する記述について、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 標識には、規則で定めるところにより、氏名又は名称、登録番号その他の規則で定める事項を記載しなければならない。
- イ 主標識は、土採取場の主たる出入口の見やすい場所に掲示しなければならない。
- ウ 補助標識は、土採取場の区域が確認できるものでなければならない。
- エ 主標識は、縦 1 0 0 cm 以上の大きさとしなければならない。

問 10 土採取に関連する法令等に関する記述について、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 土木工事その他埋蔵文化財の調査以外の目的で、貝づか、古墳その他埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地を発掘しようとする者は、発掘に着手しようとする六十日前までに文化庁長官に届け出なければならない。（文化財保護法）
- イ 千葉県土採取条例に基づく認可を受けた工事は、宅地造成及び特定盛土等規制法（通称「盛土規制法」）の適用除外となり、盛土規制法に基づく許可手続きが不要となる。（盛土規制法）
- ウ 土地の掘削その他の土地の形質の変更であって、その対象となる土地の面積が環境省令で定める規模以上のものをしようとする者は、都道府県知事の許可を受けなければならない。（土壌汚染対策法）
- エ 土の採取に伴い一般粉じん発生施設を設置しようとする者は、環境省令で定めるところにより、都道府県知事の許可を受けなければならない。（大気汚染防止法）

問 11 土採取場において、審査基準に基づいて垂直高さ 2.5メートルの掘削を行った場合、採取終了後ののり面の、のり肩側にある隣接地との境界からのり尻までの水平距離は最小限で何メートルか。正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ただし、採取終了後ののり面のこう配は 4.5 度とし、隣接地には、人家、公共施設等がないものとする。

- ア 2.9メートル
- イ 3.1メートル
- ウ 3.2メートル
- エ 3.6メートル

問 12 審査基準に定められている災害防止の方法等に関する①～⑤の記述について、**正しいものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 掘削箇所への地下水の浸透、地下水位の低下その他の地下水の変化により、土採取場周辺の井戸水、農業用水その他の水の利用に悪影響を与えないように行うものであること。
- ② 掘削した土を堆積する場合は、土留めの設置その他の崩壊又は降雨により土採取場外への土の流出を防止するため必要な措置を講じるものであること。
- ③ 乾燥時においては、土砂の飛散を防止するため、周辺の状況に応じて、土採取場内への散水、防砂ネットの設置その他の必要な措置を講ずるものであること。
- ④ 土採取場の外周には、高さ2 m以上の有刺鉄線柵及び危険標識を設置し、十分な危険防止の措置を講ずるものであること。
- ⑤ 降雨等により、土採取場外に土砂、汚濁水等が流出するのを防止するため、土採取場内に浸透池、排水溝の設置その他の適切な措置を講じるものであること。

- ア ①、②、④
- イ ②、④、⑤
- ウ ①、②、③、⑤
- エ ①、③、④、⑤

問 13 審査基準に定められている土の掘削の方法等についての記述として
誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 掘削の方法は、階段掘り方式とした。
- イ 掘削基準点を設定し、これを現地において表示した。
- ウ 掘削基準点よりも低い標高で掘削した。
- エ 掘削面のこう配を35度とした。

問 14 審査基準に定められている採取跡の処理に関する①～④の記述について、**正しいものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 採取終了後は、のり面の崩壊を防止するため、遅滞なく、草木の植栽、土留めの設置その他の必要な措置を講じなければならない。
- ② 採取終了後は、粉じんの発生を防止するため、必要な措置を講じなければならない。
- ③ 採取跡は、平坦にすることが困難な場合にあっては、降雨等により土砂が崩壊、流出しないよう措置を講じなければならない。
- ④ 採取終了後ののり面の垂直高さが10メートルを超えるときは、こう配を45度以下とし、かつ、5メートルごとに幅1メートル以上の小段を設けなければならない。

- ア ①、②
- イ ①、③
- ウ ②、③
- エ ③、④

問 15 雨水を処理するための沈砂池（浸透池）に関する記述について、
適切なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 沈砂池（浸透池）の位置は、土砂を掘削する箇所から出来るだけ近くに設ける必要がある。
- イ 沈砂池（浸透池）の水深は10メートル以上深くしなければならない。
- ウ 沈砂池（浸透池）の容量は、設計する前年の最大降雨量から決定する。
- エ 沈砂池（浸透池）に堆積した土砂等については適宜浚渫を行う。

問 16 土採取跡ののり面緑化工について、適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア のり面への植物の定着・生育を容易にするため、のり面のこう配をできるだけ緩やかにした。
- イ 緑化工は一般に一回の施工だけでは完成しないので、追肥、補植あるいは次世代適用木の植栽を随時行う。
- ウ 施工の時期として、通常早春～梅雨期前半までに行うと、年間の成長量が少なく、冬期間の枯損が多い。
- エ 根張りの大きい高木類では植栽基盤（犬走り）を痛め、崩壊助長につながることもあるので注意が必要である。

問 17 集水面積が 8 h a の採取場に 1 時間当たり 5 0 m m の降水があった。
4 時間降り続いた場合、この水量は、長さ 5 0 m、幅 2 5 m、高さ
4 m のプールの容積の何倍に相当するか、正しいものを、次のア～エ
のうちから一つ選べ。

- ア 0 . 2 倍
- イ 1 . 6 倍
- ウ 3 . 1 倍
- エ 3 . 2 倍

問 18 ある土採取場の集水区域ごとの面積及び流出係数は、下表のとおりである。この土採取場の平均流出係数として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

	面積	流出係数
A集水区域	2．0 h a	0．5 0
B集水区域	5．0 h a	0．6 0
C集水区域	3．0 h a	0．7 0

- ア 0．1 8
- イ 0．6 0
- ウ 0．6 1
- エ 1．8 0

- 問 19 採取計画の立案には、掘削総量の算定が必要となるが、下記の
 <計画内容>において、平均断面法により算定される掘削量として、
正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

<計画内容>

	測点間距離 (m)	断面積 (m ²)
No. 0	20.00	0.00
No. 1		750.00
No. 1	20.00	750.00
No. 2		1,600.00
No. 2	20.00	1,600.00
No. 3		800.00
No. 3	5.00	800.00
No. 3 +5.0		540.00
計	65.00	

- ア 50, 850 m³
 イ 55, 000 m³
 ウ 58, 350 m³
 エ 61, 700 m³

問 20 採取場にて地山土量 8, 100 m³を掘削し、ダンプトラック（5 m³積）9 台で運搬すると、運搬に要する日数は何日になるか。正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ただし、掘削する地山の土量変化率は、 $L = 1.30$ 、 $C = 0.90$ とし、ダンプトラック 1 台が 1 日に運搬する回数は 6 回とする。

$$\text{注) } L = \frac{\text{ほぐした土量 (m}^3\text{)}}{\text{地山の土量 (m}^3\text{)}} \qquad C = \frac{\text{締固め後の土量 (m}^3\text{)}}{\text{地山の土量 (m}^3\text{)}}$$

- ア 27 日
- イ 30 日
- ウ 39 日
- エ 43 日

このページは空白です。

このページは空白です。